

2 病院事業の業務状況

(1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3病院を運営しています。（平成30年1月1日より成人病センターは総合病院へ名称変更しました。）

病 院 名	診 療 開 始	診療科	病 床 数	建物延面積
総 合 病 院	昭和 51 年 4 月	30 科	535 床	90,746.27 m ²
小児保健医療センター	昭和 63 年 4 月	9 科	100 床	9,444.42 m ²
精神医療センター	平成 4 年 9 月	4 科	123 床	10,675.87 m ²

○患者の利用状況

平成29年度における県立3病院の利用実績（患者延数）は、入院が211,656人、外来が284,318人で、前年度に比べて、入院は4,968人の増加、外来は3,927人の減少となりました。

なお、各病院の近年の利用状況は、次のとおりです。

●患者数

（単位 人）

区 分		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
総 合 病 院	入 院	患者延数	74,582	73,381	71,617	74,355	76,206	75,678
		1日平均	407.6	401.0	391.3	408.5	416.4	415.8
	外 来	患者延数	107,030	108,841	110,505	107,226	106,729	103,580
		1日平均	870.2	907.0	898.4	893.6	860.7	863.2
小児保健医療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	13,774	13,886	13,315	13,414	12,605	11,552
		1日平均	75.3	75.9	72.8	73.7	68.9	63.5
	外 来	患者延数	22,105	22,175	22,954	22,823	23,294	23,245
		1日平均	179.7	184.8	186.6	190.2	187.9	193.7
精 神 医 療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	16,165	16,221	16,597	17,390	17,275	18,340
		1日平均	88.3	88.6	90.7	95.5	94.4	100.8
	外 来	患者延数	10,716	10,115	12,200	12,537	13,547	13,923
		1日平均	87.1	84.3	99.2	104.5	109.3	116.0
合 計	入 院	患者延数	104,521	103,488	101,529	105,159	106,086	105,570
		1日平均	571.2	565.5	554.8	577.8	579.7	580.1
	外 来	患者延数	139,851	141,131	145,659	142,586	143,570	140,748
		1日平均	1,137.0	1,176.1	1,184.2	1,188.2	1,157.8	1,172.9

○建設改良の状況

総合病院では、新病棟の建設工事を平成28年8月まで実施し、11月に新病棟を開棟するとともに、平成28年下半年期から平成29年7月まで西館の改修工事を実施しました。また、医療の高度化に対応するため、県立3病院で引き続き医療機器の整備等を行いました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

平成30年2月定例会議において、入院収益の減少等により事業収益を421,600千円減額補正し、病棟の用途廃止に伴う減損損失等により事業費用を612,042千円増額補正しました。また、資本的収入を323,335千円、資本的支出を290,202千円それぞれ減額補正しました。

○平成29年度予算の執行状況

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの予算の執行状況は次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
病院事業収益	22,607,900	—	△ 430,500	22,177,400	21,732,641	98.0
医業収益	19,301,713	—	△ 471,191	18,830,522	18,373,212	97.6
医業外収益	3,078,487	—	1,347	3,079,834	3,091,420	100.4
附帯事業収益	227,700	—	29,502	257,202	258,167	100.4
特別利益	—	—	9,842	9,842	9,842	100.0
病院事業費用	23,155,800	—	523,818	23,679,618	23,214,252	98.0
医業費用	22,229,090	—	△ 171,352	22,057,738	21,613,670	98.0
医業外費用	699,010	—	△ 41,264	657,746	639,024	97.2
附帯事業費用	227,700	—	29,502	257,202	254,627	99.0
特別損失	—	—	706,932	706,932	706,931	100.0

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	2,876,900	11,000	△ 323,335	2,564,565	2,528,497	98.6
企業債	2,849,800	11,000	△ 349,100	2,511,700	2,475,700	98.6
負担金	23,456	—	△ 887	22,569	22,569	100.0
諸収入	3,644	—	26,652	30,296	30,228	99.8
資本的支出	4,530,500	11,100	△ 289,828	4,251,772	4,215,177	99.1
建設改良費	2,899,856	11,100	△ 257,335	2,653,621	2,617,060	98.6
企業債償還金	1,630,644	—	△ 32,493	1,598,151	1,598,117	100.0

(注) 1 補正予算額は、平成29年9月定例会議、平成29年11月定例会議および平成30年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

平成30年3月31日現在の企業債の現在高は、25,744,802千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、患者数の増加等による医業収益の増加等により対前年度比 0.6%増加の 21,691,406 千円となりました。一方、事業費用は、給与費の増加等による医業費用の増加、総合病院の東館解体に伴う用途廃止による特別損失の計上等により対前年度比 4.4%増加の 23,173,722 千円となりました。この結果、当年度純損失は、前年度より 846,153 千円増加し、1,482,316 千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 29 年度(A)	平成 28 年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
事 業 収 益	21,691,406	21,562,543	128,863	100.6
医 業 収 益	18,349,193	18,203,869	145,324	100.8
医 業 外 収 益	3,074,274	3,135,832	△ 61,558	98.0
附 帯 事 業 収 益	258,097	222,842	35,255	115.8
特 別 利 益	9,842	—	9,842	皆増
事 業 費 用	23,173,722	22,198,706	975,016	104.4
医 業 費 用	21,183,228	20,993,781	189,447	100.9
医 業 外 費 用	1,028,978	985,100	43,878	104.5
附 帯 事 業 費 用	254,585	219,825	34,760	115.8
特 別 損 失	706,931	—	706,931	皆増
当年度純利益(△は損失)	△ 1,482,316	△ 636,163	△ 846,153	233.0

②財務状況

平成 29 年度末の総資産は、用途廃止による有形固定資産の減少等により前年度より 883,777 千円(2.1%)減少して 41,929,567 千円となり、負債は固定負債の増加等により 598,539 千円(1.7%)増加して 35,540,572 千円となりました。また、資本は 1,482,316 千円(18.8%)減少し 6,388,995 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 29 年度	平成 28 年度	比較増減	科 目	平成 29 年度	平成 28 年度	比較増減
固定資産	33,519,156	33,970,038	△ 450,882	固定負債	27,755,906	27,129,695	626,211
流動資産	8,410,411	8,843,306	△ 432,895	流動負債	5,083,806	4,927,770	156,036
				繰延収益	2,700,860	2,884,568	△ 183,708
				負債合計	35,540,572	34,942,033	598,539
				資本金	16,415,091	16,415,091	—
				剰余金	△10,026,096	△8,543,780	△ 1,482,316
				資本合計	6,388,995	7,871,311	△ 1,482,316
合 計	41,929,567	42,813,344	△ 883,777	合 計	41,929,567	42,813,344	△ 883,777

(3) 平成 30 年度の事業および予算の概要

県立病院では、平成 18 年度に地方公営企業法を全部適用し、病院事業管理者として病院事業庁長を設置

し、平成24年3月に策定し、平成27年3月に中間見直しを行った「第三次滋賀県立病院中期計画」に基づき経営改善を進めてきましたが、平均在院日数の短縮に伴う入院収益の減等から、依然として厳しい経営状況となっています。こうした中で、平成29年3月に策定した「第四次滋賀県立病院中期計画」に掲げる目標の達成に向けた取り組みを着実に実施し、経営改善を進め、安定的な経営基盤を構築するとともに、質の高い医療サービスを提供していきます。

総合病院では、超高齢社会の到来に伴う疾病構造の変化、多様化する医療ニーズに的確に対応するため、新病棟開棟や西館改修を行い、将来を見据えた病院機能の再構築を図りました。また、都道府県がん診療拠点病院、地域医療支援病院として、安全で質の高い医療提供に努めます。併せて、総合病院の強みを生かして診療機能を高めるために、診療科が連携し治療する高度医療センターを強化します。

小児保健医療センターでは、一般病院では対応が困難な障害児医療、小児慢性・難治性疾患を中心に地域医療機関との連携を図りながら、高度専門的かつ包括的医療を提供するとともに、各地域の医師会をはじめ保健所や訪問看護ステーションとの連携により、在宅療養の支援体制を構築するなど診療体制の充実・強化を図ります。また、多様化する県民ニーズに適切に対応するため、病院機能の再構築に向け、平成29年度に策定した「小児保健医療センター基本計画」に基づき、基本設計着手に向けた具体的検討を進めます。

精神医療センターでは、県民の精神医療を担う中核施設として、思春期精神障害、アルコール・薬物の中毒性精神障害等の専門治療や民間では受け入れ困難な身体疾患を伴う患者の積極的な受け入れに取り組むとともに、各地域の医療機関や市町との密接な連携のもと長期入院患者の退院促進を図るため、地域移行支援により積極的に取り組みます。また、医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受け入れを行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、引き続き適切な医療の提供を行います。

○平成30年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療 ^外	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		22,829,400	17,294,600	3,316,600	2,119,700	98,500
	医業収益	19,318,788	15,168,007	2,628,364	1,426,312	96,105
	医業外収益	3,273,912	2,126,593	451,536	693,388	2,395
	附帯事業収益	236,700	—	236,700	—	—
病院事業費用		23,351,900	17,785,000	3,374,000	2,094,400	98,500
	医業費用	22,432,129	17,195,174	3,084,597	2,053,858	98,500
	医業外費用	683,071	589,826	52,703	40,542	—
	附帯事業費用	236,700	—	236,700	—	—

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療 ^外	精神医療センター	経営管理課
資本的収入		536,600	425,600	65,500	45,500	—
	企業債	501,400	392,100	64,000	45,300	—
	負担金	29,200	27,500	1,500	200	—
	諸収入	6,000	6,000	—	—	—
資本的支出		2,316,900	1,869,800	212,800	234,300	—
	建設改良費	565,580	453,170	66,560	45,850	—
	企業債償還金	1,751,320	1,416,630	146,240	188,450	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。